

## 平成20年6月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年5月15日

上場会社名 株式会社 ゼロ 上場取引所 東証2部  
 コード番号 9028 URL <http://www.zero-group.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩下 世志  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 北村 竹朗 TEL (044) 520 - 0106

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年6月期第3四半期の連結業績(平成19年7月1日～平成20年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年6月期第3四半期	41,651	2.8	902	85.7	990	67.4	534	99.6
19年6月期第3四半期	40,504	5.3	486	△42.0	591	△35.9	267	△50.4
19年6月期	54,177	—	952	—	1,107	—	660	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年6月期第3四半期	31	01	30	71
19年6月期第3四半期	15	34	15	20
19年6月期	37	94	37	61

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年6月期第3四半期	29,256		12,005		40.8		692	11
19年6月期第3四半期	30,766		11,204		36.3		647	11
19年6月期	28,190		11,593		41.0		671	25

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年6月期第3四半期	179		783		△573		5,361	
19年6月期第3四半期	△282		△1,023		△55		3,379	
19年6月期	939		180		△890		4,971	

### 2. 平成20年6月期の連結業績予想(平成19年7月1日～平成20年6月30日)

平成19年8月10日に公表しました業績予想を以下のように修正いたします。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	56,500	4.3	1,300	36.5	1,370	23.7	750	13.6	43	51

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年7月1日～平成20年3月31日）におけるわが国経済は、堅調な企業収益が持続するなか原材料やエネルギー価格の高騰、米国における低所得者向け住宅融資問題（いわゆるサブプライムローン問題）に端を発する金融不安、株式市場や不動産市場の伸び悩みなど、景気の先行きに不透明さが増すと同時に、個人消費の足踏み感が強まっております。

とりわけ軽油店頭価格が昨年3月のリッター109円から1年の間にリッター134円まで25円高騰（石油情報センター統計データより）している事実は、車両輸送業界を含む物流業界全体において大きなプレッシャーとなっております。

自動車業界におきましては、国内自動車メーカーの国内新車販売（対前年95.6%：日本自動車工業会統計データより）と中古車登録台数（対前年94.1%：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計データより）が共に不振であり、新車及び中古車の輸送需要も落ち込んでおります。当社グループの大口取引先である日産自動車の国内販売も、他メーカーに比べて前年からの減少幅が少なかった（対前年98.5%：日本自動車工業会統計データより）ものの、厳しい状況は依然続いております。

こうした環境の中、車両輸送事業においては売上の拡大と輸送効率の向上を目指して、中古車や引越しに伴うマイカーの輸送台数の獲得に注力しております。輸送収益改善活動も継続しており、燃料価格の高騰による影響を少しでもカバーできるよう努めております。また一般貨物輸送事業においては新規顧客の獲得と商品センターごとの収益性改善を図るための様々な見直しを実行中であり、3PL事業における顧客の獲得を進めております。

以上の結果、当社グループの第3四半期は、売上高416億51百万円（前年同期比102.8%）、営業利益9億2百万円（前年同期比185.7%）、経常利益9億90百万円（前年同期比167.4%）、当期純利益5億34百万円（前年同期比199.6%）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の変動状況

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13.0%増加し、151億81百万円となりました。

これは主に、有価証券が7億98百万円減少したものの、現金及び預金が4億17百万円、受取手形及び売掛金が12億87百万円、未収入金等の流動資産その他が7億28百万円それぞれ増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、140億75百万円となりました。

これは主に、岡山物流センター移転による旧用地の売却により土地が2億64百万円、システム開発費の償却等により無形固定資産その他が2億98百万円それぞれ減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、292億56百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ28.9%増加し、95億38百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が8億81百万円、短期借入金が3億38百万円、未払法人税等が3億4百万円、未払費用等の流動負債その他が4億86百万円それぞれ増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16.1%減少し、77億12百万円となりました。

これは主に、長期借入金が8億5百万円、退職給付引当金が6億19百万円それぞれ減少したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ3.9%増加し、172億50百万円となりました。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3.6%増加し、120億5百万円となりました。

これは主に、岡山物流センター旧用地の売却により土地再評価差額金が1億31百万円減少したものの、利益剰余金が5億28百万円増加したことによります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ3億89百万円増加し、53億61百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億79百万円（前第3四半期は2億82百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益10億63百万円、減価償却費4億87百万円、仕入債務の増加額8億81百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額12億87百万円、退職給付引当金の減少額6億19百万円、法人税等の支払額3億9百万円であり、

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、7億83百万円（前第3四半期は10億23百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、有価証券の償還による収入26億円、岡山物流センター旧用地の有形固定資産の売却による収入3億51百万円であり、支出の主な内訳は、有価証券の取得による支出17億95百万円、貸付による支出1億48百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億73百万円（前第3四半期は55百万円の使用）となりました。支出の主な内訳は、借入金の返済による支出5億11百万円、配当金の支払1億35百万円であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては前回予想のとおり推移する見込であります。以下の要因により、利益につきましては前回予想を下回る見込であり、修正するものであります。

#### ① 車両輸送関連事業

売上につきましては順調に伸長しておりますが、燃料価格の高騰は想定を大きく超えております。経費の削減や輸送の効率化などに努めて参りましたが、第3四半期に入ってから燃料費の増加は特に顕著であり、この傾向は第4四半期も継続・拡大すると見込まれるため、利益につきまして修正するものであります。

今後、さらなる輸送効率の向上に努めると同時に、燃料高騰分を反映した輸送料金への見直しについて、顧客との交渉を検討して参ります。

#### ② カーセレクション事業

当社で開催している中古車の入札会は、出品台数を拡大する予定でありました。しかし中古車市場が低迷する中で他のオートオークションとの競争が激化、出品台数も減少し、当初見込んでいた利益について修正するものであります。

今後は新車販売店に対する営業を強化し、出品台数の獲得に努めて参ります。

#### ③ 一般貨物輸送事業

新しい営業体制のもと、3PL事業における荷主の獲得は順調に進んでおります。今年3月には館林商品センター（群馬県）を開設して業務を開始しており、また今年6月の業務開始に向けて三郷商品センター（埼玉県）の開設準備を進めております。これらの立上げに伴う費用が3月以降先行して発生していることから、利益につきまして修正するものであります。

この2つの商品センター開設は、来期の事業拡大へ向けた布石と考えております。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算などについては、一部簡便な手続きを用いております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	前期末 (平成19年6月期末)	当四半期末 (平成20年6月期 第3四半期末)	増減		前年同四半期末 (平成19年6月期 第3四半期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
<b>I 流動資産</b>					
1. 現金及び預金	3,715	4,133			2,613
2. 受取手形及び売掛金	6,255	7,543			7,478
3. 有価証券	2,297	1,499			1,998
4. たな卸資産	199	204			141
5. 繰延税金資産	84	196			81
6. その他	912	1,641			1,478
貸倒引当金	△31	△36			△84
<b>流動資産合計</b>	<b>13,433</b>	<b>15,181</b>	<b>1,747</b>	<b>13.0</b>	<b>13,707</b>
<b>II 固定資産</b>					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	970	916			1,034
(2) 機械装置及び運搬具	212	196			238
(3) 工具、器具及び備品	100	85			70
(4) 土地	8,952	8,687			9,336
(5) 建設仮勘定	—	1			—
有形固定資産合計	10,236	9,889	△346	△3.4	10,680
2. 無形固定資産					
(1) のれん	118	93			127
(2) その他	1,318	1,020			1,427
無形固定資産合計	1,437	1,113	△323	△22.5	1,554
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	437	375			1,517
(2) 繰延税金資産	1,961	1,818			2,601
(3) その他	728	935			721
貸倒引当金	△45	△58			△17
投資その他の資産合計	3,082	3,071	△10	△0.3	4,824
<b>固定資産合計</b>	<b>14,756</b>	<b>14,075</b>	<b>△681</b>	<b>△4.6</b>	<b>17,058</b>
<b>資産合計</b>	<b>28,190</b>	<b>29,256</b>	<b>1,066</b>	<b>3.8</b>	<b>30,766</b>

(単位：百万円、%)

科目	前期末 (平成19年6月期末)	当四半期末 (平成20年6月期 第3四半期末)	増減		前年同四半期末 (平成19年6月期 第3四半期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1. 支払手形及び買掛金	3,671	4,552			4,442
2. 短期借入金	398	736			1,291
3. 一年以内返済予定長期借入金	1,377	1,333			1,242
4. 未払法人税等	199	503			311
5. 未払消費税等	107	162			107
6. 賞与引当金	122	241			71
7. 本社売却代金手付金	—	—			904
8. その他	1,522	2,008			1,755
<b>流動負債合計</b>	<b>7,399</b>	<b>9,538</b>	<b>2,138</b>	<b>28.9</b>	<b>10,126</b>
<b>II 固定負債</b>					
1. 長期借入金	2,670	1,865			2,735
2. 退職給付引当金	4,898	4,278			5,029
3. 役員退職慰労引当金	171	198			145
4. 繰延税金負債	84	86			82
5. 土地再評価に係る繰延税金負債	1,371	1,282			1,443
6. その他	0	0			0
<b>固定負債合計</b>	<b>9,196</b>	<b>7,712</b>	<b>△1,484</b>	<b>△16.1</b>	<b>9,435</b>
<b>負債合計</b>	<b>16,596</b>	<b>17,250</b>	<b>654</b>	<b>3.9</b>	<b>19,562</b>
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1. 資本金	3,390	3,390			3,386
2. 資本剰余金	3,204	3,204			3,200
3. 利益剰余金	5,808	6,336			5,308
4. 自己株式	△132	△132			△113
<b>株主資本合計</b>	<b>12,271</b>	<b>12,799</b>	<b>528</b>	<b>4.3</b>	<b>11,783</b>
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1. その他有価証券評価差額金	67	30			55
2. 土地再評価差額金	△769	△900			△662
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△702</b>	<b>△870</b>	<b>△168</b>	<b>24.0</b>	<b>△606</b>
<b>III 少数株主持分</b>	<b>23</b>	<b>76</b>	<b>52</b>	<b>222.5</b>	<b>27</b>
<b>純資産合計</b>	<b>11,593</b>	<b>12,005</b>	<b>412</b>	<b>3.6</b>	<b>11,204</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>28,190</b>	<b>29,256</b>	<b>1,066</b>	<b>3.8</b>	<b>30,766</b>

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年6月期 第3四半期)	増減		前期 (平成19年6月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	40,504	41,651	1,147	2.8	54,177
II 売上原価	36,533	37,226	692	1.9	48,554
<b>売上総利益</b>	3,970	4,424	454	11.4	5,622
III 販売費及び一般管理費	3,484	3,522	37	1.1	4,670
<b>営業利益</b>	486	902	416	85.7	952
IV 営業外収益	187	159	△28	△15.1	264
V 営業外費用	82	71	△10	△12.7	109
<b>経常利益</b>	591	990	398	67.4	1,107
VI 特別利益	6	80	73	1,201.0	1,247
VII 特別損失	42	7	△35	△82.6	946
<b>税金等調整前四半期(当期)純利益</b>	555	1,063	507	91.5	1,409
税金費用	303	549	246	81.2	768
少数株主損失	△16	△21	△5	—	△19
<b>四半期(当期)純利益</b>	267	534	266	99.6	660

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年6月期 第3四半期)	前期 (平成19年6月期)
区分	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	555	1,063	1,409
減価償却費	489	487	657
のれん償却額	25	25	33
貸倒引当金の増減額	20	18	△4
賞与引当金の増減額	△48	118	2
退職給付引当金減少額	△389	△619	△520
役員退職慰労引当金増加額	4	27	30
受取利息及び受取配当金	△1	△23	△19
支払利息	56	53	76
投資有価証券売却益	—	—	△27
投資有価証券評価損	—	—	799
固定資産除売却損益	△0	△72	△1,192
売上債権の増加額	△1,435	△1,287	△212
たな卸資産の増減額	19	△5	△38
その他流動資産増減額	△548	△685	0
仕入債務の増減額	742	881	△28
その他流動負債増加額	367	487	144
未払消費税等の増加額	30	54	31
その他	1	△0	△3
小計	△111	521	1,139
利息及び配当金の受取額	1	17	17
利息の支払額	△50	△50	△76
法人税等の支払額	△122	△309	△139
営業活動によるキャッシュ・フロー	△282	179	939

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年6月期 第3四半期)	前期 (平成19年6月期)
区分	金額	金額	金額
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入支出	△67	△28	△76
定期預金の払戻収入	34	—	34
有価証券の取得による支出	△999	△1,795	△1,796
有価証券の償還による収入	—	2,600	1,000
有形固定資産の取得による支出	△274	△77	△473
有形固定資産の売却による収入	8	351	1,824
無形固定資産の取得による支出	△249	△20	△265
投資有価証券の取得による支出	△1	△0	△1
投資有価証券の売却による収入	0	—	327
貸付による支出	△77	△148	△96
貸付金回収による収入	8	48	17
本社売却代金手付金の受取による収入	904	—	—
その他	△312	△145	△312
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023	783	180
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入れによる収入	7,300	1,525	8,600
短期借入金の返済による支出	△6,659	△1,187	△8,851
長期借入れによる収入	470	120	970
長期借入金の返済による支出	△922	△969	△1,351
株式の発行による収入	5	—	13
少数株主への株式発行による収入	—	74	—
自己株式の取得による支出	△112	—	△131
自己株式の売却による収入	—	0	—
配当金の支払額	△136	△135	△138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55	△573	△890
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)</b>	△1,361	389	230
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	4,741	4,971	4,741
<b>VI 現金及び現金同等物の期末残高</b>	3,379	5,361	4,971

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期)

(単位: 百万円)

	車両輸送関連事業	カーセレクション事業	一般貨物輸送事業	計	消去又は全社	連結
売上高	35,702	687	4,113	40,504	—	40,504
営業費用	34,392	539	4,041	38,973	1,045	40,018
営業利益	1,310	148	72	1,531	△1,045	486

当四半期 (平成20年6月期 第3四半期)

(単位: 百万円)

	車両輸送関連事業	カーセレクション事業	一般貨物輸送事業	計	消去又は全社	連結
売上高	36,495	644	4,511	41,651	—	41,651
営業費用	34,691	471	4,455	39,618	1,130	40,748
営業利益	1,804	172	56	2,033	△1,130	902

参考 前期 (平成19年6月期)

(単位: 百万円)

	車両輸送関連事業	カーセレクション事業	一般貨物輸送事業	計	消去又は全社	連結
売上高	47,584	975	5,616	54,177	—	54,177
営業費用	45,534	745	5,518	51,797	1,427	53,225
営業利益	2,050	230	98	2,379	△1,427	952